

学年	小学校3年生
教科	国語
単元	しりょうから分かったことを、筋道を立てて話そう 「しりょうから分かる、小学生のこと」
目標	関心のあることから話題を決め、分かったことや考えたことについて、筋道を立てて話すことができる。
付けたい力	情報を選んで分析し、分かったことや考えたことを、筋道を立てて話す力。
教材・問題のアイデア	教科書に載っている資料を使用するのではなく、 クラスの実態をグラフや表にした資料3種類を用意した。 A：3年1組の図書の本貸出冊数（4～12月） B：3年1組の欠席者数と主な欠席理由（4～1月） C：3年1組の将来の夢 自分たちの問題について分析し、考える活動を行ったことで、より教材への関心を高めることにつながった。特に、「C：3年1組の将来の夢」の資料を選択する児童が多かった。
成果と課題	（成果） ○資料を分析する時間では、表やグラフに興味をもって取り組めた。 ○自分たちのことを対象に調べたデータであるため、「最大」「最小」「増加」「減少」等を書き出すだけでなく、それを根拠とした自分の意見を考えることができていた。 （課題） △単学級（35人）であり、資料の対象人数が少なかった。特に、「C：3年1組の将来の夢」では、同票での1位が多くなってしまった。 △3年生の算数で、棒グラフについて学習しているため、時間的な余裕があれば、資料の準備段階から子どもたちに活動させても良いと感じた。